

保幼小の接続期カリキュラム

～幼児期の教育と

小学校教育の円滑な接続を目指して～



平成29年1月

中央区教育委員会・中央区福祉保健部

目 次

I	保幼小の接続期カリキュラムについて	
1	中央区の保幼小連携の現状	1
2	保幼小の接続期カリキュラム作成にあたって ～アンケートの実施～	2
II	カリキュラムの見方	
1	カリキュラムの基本的な考え方	7
2	カリキュラムの見方	8
III	保幼小の接続期カリキュラム	
1	概要版	11
2	詳細版	17
3	日常の指導場面で	27
IV	巻末資料	33
	アンケート、参考文献	

I 保幼小の接続期カリキュラムについて

1 中央区の保幼小連携の現状と課題

(1) 中央区の保幼小連携の現状

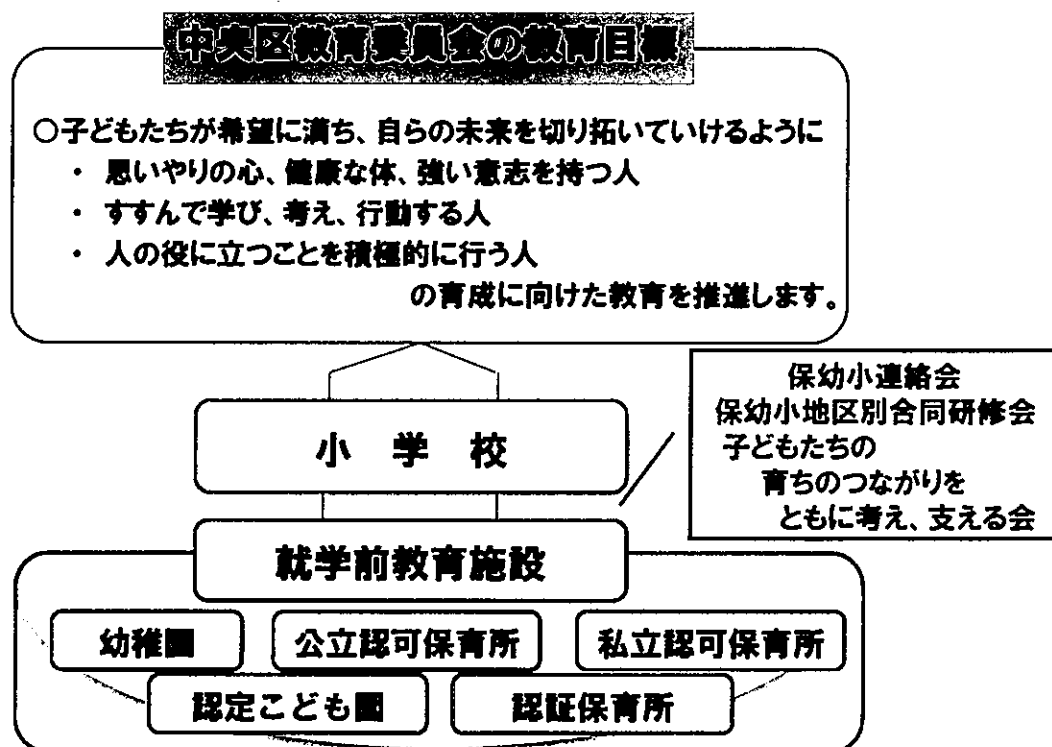
平成25年3月に策定された「中央区基本計画2013」では、子育てや教育について『子どもが輝く子育て・教育のまちづくり』を謳っている。それに伴い、平成27年3月に、教育委員会は「改訂中央区教育振興基本計画」を策定し、今後5年間で進める教育施策についてまとめた。

また、子ども・子育て支援法制定に基づき、福祉保健部では「中央区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、「子どもの最善の利益が尊重され、子育てに喜びや生きがいを感じることができ、地域で安心して子育てができる環境が整備された、子どもも親も輝く社会の実現」を掲げた。

このような動きの中で、教育委員会事務局指導室と福祉保健部子育て支援課において、幼児期の教育についての基本的な考え方を共通の認識に立って進めようとしている。

本区の保幼小連携の実際として、まず、各保育所、こども園、幼稚園、小学校間の幼児・児童の交流活動のほかに、保幼小の管理職が区としての連携の在り方を考える「保幼小連絡会」を実施している。また、保幼小の保育士や教員が「保幼小地区別合同研修会」を行っている。

認可・認証、私立・公立を問わず区内の全ての保育所と幼稚園、小学校が連携していることが、本区の保幼小連携の特長と言える。



(図1) 中央区の保幼小連携の姿

(2) 中央区の保幼小連携の課題

小学校においては、区内のいろいろな就学前施設から子どもたちを迎えている。しかし、保育所・こども園・幼稚園の教育方法や保育内容が多様であるために、入学後の落ち着かない状態がいつまでも解決されず、授業規律が成立しない状態へと拡大する、「小1問題」が見られることがあった。

そこで、教育委員会では、平成23年度に、幼稚園教育課程委員会が「幼児のよりよい育ちをめざして 中央区幼稚園アプローチカリキュラム」を、小学校教育課程委員会が「成長や学びのつながりを大切にー就学前教育と小学校教育との円滑な接続を目指してー」を作成し、円滑な接続を目指し取り組んできた。

しかし、作成から数年が経過し、就学前の施設の形態の多様化や園数の急増が進む中で、2つのカリキュラムを一つにつなげ、さらに保育所での教育の視点を盛り込み、接続に重点をおいたカリキュラムとしての改訂の必要性が高まった。

そこで、幼児期の教育と小学校教育との接続をより円滑にすることを目的とし、主に接続期の教育方法について明らかにした「保幼小の接続期カリキュラム」を作成することとした。

2 保幼小の接続期カリキュラム作成にあたって ～アンケートの実施～

(1) カリキュラム作成にあたってのアンケート「小学校接続期についてのアンケート」

保幼小の接続期カリキュラムを作成するにあたって、実際に小学校では、入学時にどのようなことがある程度できていてほしいかについて、小学校1年生の担任にアンケートを行った(巻末資料参照)。

<小学校接続期についてのアンケート 平成27年7月10日実施>

配布数 36部 回収数 36部 回収率100%

<集計結果(○)と分析(☆)>

Q:新1年生が入学したとき～7月ころまでの「子どもの姿で困ったこと」について記入してください。(自由記述)

記述内容で多かった上位4項目

○ 話を聞く態度(16件)

・話を聞く態度が育っていない、一斉指示を自分のことととらえることが難しい、など。

○ 自分の気持ちを言葉で表すこと(12件)

・自分の気持ちを言葉で表すことが難しく、友達とのトラブルが多い、など。

○ 時間に関すること(11件)

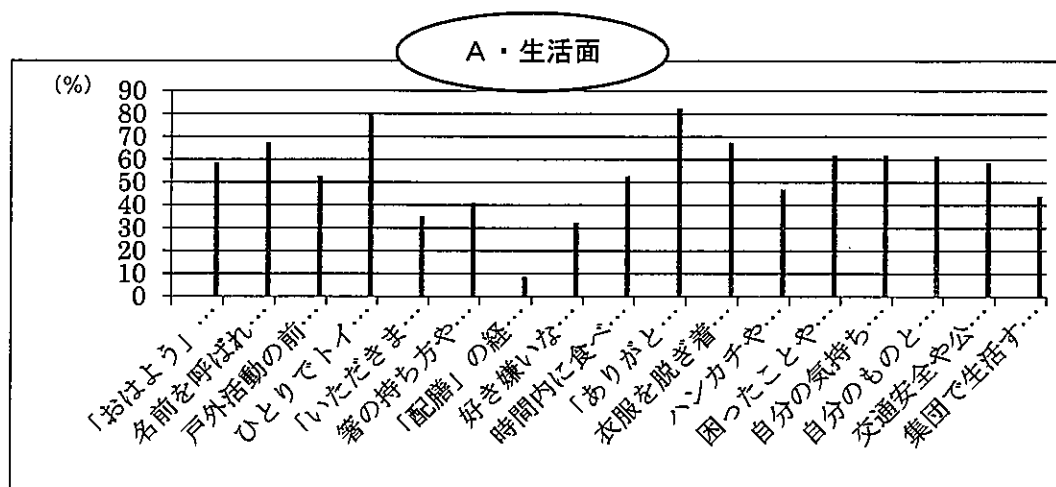
・時間の感覚がなく活動に時間がかかる、授業と休み時間の区別がつきにくい、など。

○ 給食・食べること(10件)

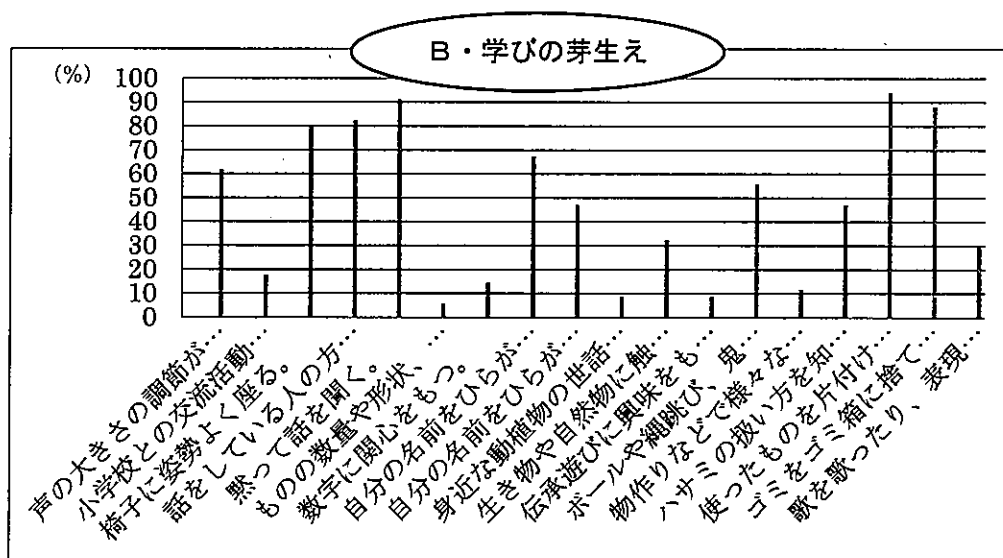
・食事時間に個人差が見られたり好き嫌いが多かったりし、個別の指導が必要である、など。

☆ 記述全てにおいて、生活習慣に関わることが挙がった。

Q：小学校入学前に「ある程度はできていてほしいこと」について、重要と思われる項目をカテゴリA・Bから各10個程度ずつ選んでください。



(図2) 小学校接続期についてのアンケート結果グラフ(生活面)
(アンケートの設問は巻末資料参照)



(図3) 小学校接続期についてのアンケート結果グラフ(学びの芽生え)
(アンケートの設問は巻末資料参照)

カテゴリA(生活面)について

- 「できていてほしいこと」として多かった回答4項目
 - ・ 「ありがとう」や「ごめんなさい」が言える。(82.4%)
 - ・ ひとりでトイレが済ませられる。(79.4%)
 - ・ 衣服を脱ぎ着し、脱いだ服をたたむ。(67.6%)
 - ・ 名前を呼ばれたら元気よく返事をする。(67.4%)
- ☆ 入学時には、あいさつ、衣服の着脱などの基本的な生活習慣が身に付いていることが望まれている。



カテゴリーB（学びの芽生え）について

○ 「できてほしいこと」として多かった回答4項目

- ・ 使ったものを片付ける。(94.1%)
- ・ 黙って話を聞く。(91.2%)
- ・ 話をしている人の方を向いて話を聞く。(82.4%)
- ・ 椅子に姿勢よく座る。(79.4%)

○ 「できてほしいこと」として少なかった回答4項目

- ・ ものの数量や形状、ものがある場所などを具体的に相手に伝える (5.9%)
- ・ 身近な動植物の世話をする。(8.8%)
- ・ 伝承遊びに興味をもつ。(8.8%)
- ・ 物作りなどで様々な素材や材料に触れる。(11.8%)

☆ 片付けや話を聞く態度など、学習に向かう姿勢を身に付けていることが望まれている。

☆ 文字や数など、学習内容にかかわることへの関心はあまり望まれていない。



これらの結果を踏まえて、就学前教育と小学校教育を円滑に接続するためのよりよい指導の方法に迫ることのできるような具体的なカリキュラムを作成し、平成28年1月に「中間報告」を行い、区内保育所、こども園、幼稚園、小学校に「保幼小の接続期カリキュラム 中間報告」を配布した。

(2) 中間報告（案）についてのアンケート「保幼小の接続期カリキュラム（中間報告）アンケート」

中間報告の内容を精査するために、「保幼小の接続期カリキュラム（中間報告）アンケート」（巻末資料参照）を、保育所および幼稚園5歳児担任と小学校1年生担任に行った。

その際に寄せられた意見を参考に、平成28年度保幼小の接続期カリキュラム検討委員会にて、本カリキュラムを再検討した。

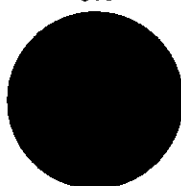
＜保幼小の接続期カリキュラム（中間報告）アンケート 平成28年7月8日実施＞

○保育園	配布数	40部	回収数	37部	回収率	92.5%
○幼稚園	配布数	22部	回収数	22部	回収率	100%
○小学校	配布数	39部	回収数	36部	回収率	92.3%

Q①：「接続期カリキュラム概要（絵入り）」は解りやすかったですか。

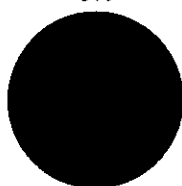
保育園
■はい ■いいえ

0%



幼稚園
■はい ■いいえ

0%

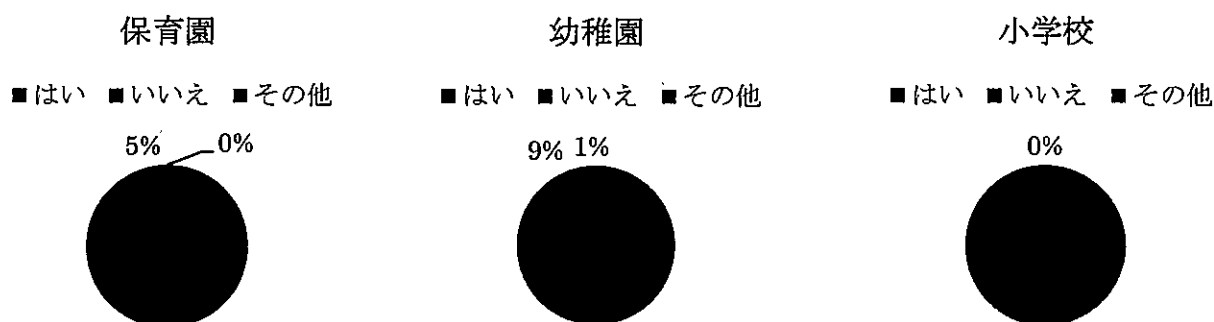


小学校
■はい ■いいえ

0%



Q②：「接続期カリキュラム詳細版」は解りやすかったですか。



「はい」の理由

- 時系列で子どもの発達や成長が分かり、参考になる。
- 幼児期に経験した内容が、小学校入学後、どのような内容（教科）につながるかよく分かる。
- 行動が具体的に示されており、その時期に経験させておくとういことが分かる。

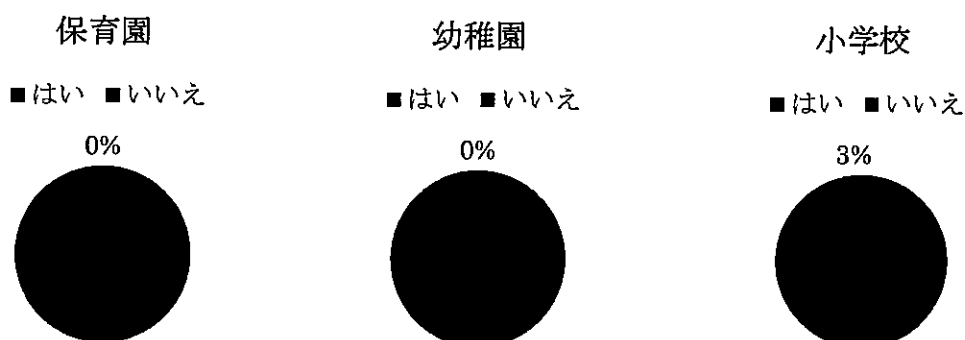
「いいえ」の理由

- 文字が多く、読みにくい。

「その他」の理由

- 5歳児の経験と小学校入門期とのつながりは分かりやすいが、分類が細かく、読み取りが難しいように感じた。

Q③：「日常の指導場面について」は解りやすかったですか。



* Q③～⑦の回答の平均値。

Q③～⑦の質問内容については、巻末資料（P. ）参照。

Q③～⑦「はい」の理由

- 具体的に書いてあり、つながりを感じた。
- 取り上げているテーマに対し、必要なポイントが絞られて明記されているので一見して分かりやすい。

Q③～⑦「いいえ」の理由

- 共通のポイントのとらえ方、考え方が分かりにくい。



II カリキュラムの見方

1 カリキュラムの基本的な考え方

本カリキュラムは、平成23年度に中央区教育委員会教育課程委員会にて作成された「幼児のよりよい育ちをめざして 中央区幼稚園アプローチカリキュラム」、「成長や学びのつながりを大切にー就学前教育と小学校教育との円滑な接続を目指してー」及び、平成22年度に東京都教育委員会より発行された「就学前教育カリキュラム」を基に作成した。「就学前教育カリキュラム」では、生きる力の基礎として「乳幼児期の子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点」の3つの力「学びの芽生え」「人との関わり」「基本的生活習慣・運動」を基盤に編成しているため、本カリキュラムもその考え方をベースにした。

ここで、本カリキュラムの基本的な考え方について、以下に記載する。

＜接続期において、3つの力各々で確実に経験させたい内容＞

①3つの力…「生きる力の基礎」の【学びの芽生え】【人との関わり】【生活習慣・運動】

②8視点…「乳幼児期の子どもの発達に応じて確実に経験させたい内容」の視点

【思考】【創造】【言葉】【協同】【信頼】【規範】【基本的生活習慣】

【食育・運動】

③18項目…8つの視点のそれぞれの視点を具体的にしたもの

①3つの力	②8視点	③18項目	内 容
学 び の 芽 生 え	思 考	興味・関心	・周囲の環境に好奇心や探究心をもってかかわり、遊びや生活に取り入れようとする事
		思考	・身近な自然と触れ合い、様々な事象に興味や関心をもつこと ・身近な事象を見たり、考えたり、後ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する興味や関心をもつこと
		表現	・生活の中でイメージを豊かにし、いろいろな素材や表現の手段の特性を知り、表現する楽しさを味わうこと
	言 葉	話す・聞く	・経験したことや考えたことを、自分なりの言葉で表現すること ・相手の話す言葉を聞こうとする言動や態度を身に付けること
		伝え合う	・自分に相手の考えを分かるように伝えたり、友達の際に関心をもってすすんで聞いたりして、問題への解決策を友達と一緒に考えること
人 と の 関 わ り	協 同	調整	・他の幼児と共に活動する楽しさを味わうこと ・共通の目的が実現する喜びを感じる事
		他者理解	・相手の思いや考えを感じたり受け入れたりすること ・人に対する信頼感や思いやりの気持ちをもつこと ・自信をもって行動できるようにすること
		異年齢の交流	・年齢の異なる人との関わりの中で相手を尊重する気持ちをもって行動すること
	規 範	きまり	・生活に必要な約束やルールを身に付けること
		善悪	・よいことや悪いことに気付き、考えながら行動すること ・自分の気持ちを調整し、相手を尊重する気持ちをもって行動すること
生 活 慣 ・ 運 動	基 本 的 な 生 活 慣 慣	身の回りの 支度	・衣服の着脱や持ち物の持ち方など、自分でできることは自分でしようとする事 ・健康に気を付けて行動しようとする事
		清潔活動	・自分たちの生活に必要なこと考え、協力して行うこと
		自立	・集団生活を送る中で、見通しをもって行動しようとする事
		生活資金	・安全に気を付けて行動しようとする事
	食 育 ・ 運 動	食への関心	・栽培を通して、いろいろな食物に関心をもつ。 ・自分の体に興味をもち、健康な生活に必要なことが分かる。
		伝統	・食を通して、日本の伝統文化に触れる。
		遊	・体を十分に動かし、すすんで運動しようとする事 ・体を動かす楽しさや気持ちよさを感じる事
		床遊び	・寝い合う楽しさやみんなで遊ぶ充実感を味わうこと

(図4) 接続期に確実に経験させたい内容の視点の趣旨

2 カリキュラムの見方

本カリキュラムは、「概要版」「詳細版」「日常の指導場面で」の3部構成となっている。それぞれの内容は、次のとおりである。

<Ⅲ-1 概要版>

主にその時期に大切にしたい指導内容を挙げた。

発達過程（その時期の特徴的な姿）
発達には個人差があるので、表内にはあえて縦線を入れていない。

※表内はおおむねの目安です。「いつ」「どのくらい」に達成させるか、詳細についてはP. 4の「詳細版」を参照してください。

	乳児1歳4月～1歳7月(主)	乳児1歳7月～2歳(主)	乳児2歳～2歳7月(主)	幼児2歳7月～3歳(主)	幼児3歳～3歳7月(主)	幼児3歳7月～4歳(主)
発達過程	年長になつた喜びを感じながら友達と一緒に行動し、つながりを感じる時期	友達とのつながりを感じる。自分の欲求を達成しようとする時期	自分たちの生活に慣れしめよう。仲間とのつながりの中で活動をする時期	友達と共通の興味をもつ。力をあわせて進める活動をする時期	一人一人が活動をもって生活をする。安心して生活し、友達をもつて生活できるようにしている時期	小学校入学準備
思考	 - いろいろな素材を使って、思いやり作ったりする。 - 動植物や自然現象に興味関心をもち、自然を取り入れて遊ぶ。	 経験したこと、感じたこと、考えたことを友達に分かるように伝える。	 物語や図の続きに興味をもち、友達と楽しんで聞く。	 聞かされて話を聞くときは正しい姿勢で座る。	 日常生活に必要な文字や数字、標識に興味をもつ。	
学びの芽生え						
創造						
言葉						
協同						
信頼						
規範						
基本的生活習慣	 - 自分から進んであいさつや返事をする。 - 手洗いやうがいをする習慣を身に付ける。	 - 相手の気持ちを考えようとする。 - してよいこと、してはいけないことが分かるようになる。	 - 危険なことを自分で判断し、進んだり生活したりする。 - 遊び方やルールを自分たちでつくり、守って遊ぶ。 - 目的に向かって自分の力を出し、友達と力を合わせる楽しさを知る。	 身近な人(高齢者、年下の乳幼児、地域の人など)との関わりを通して情手を惹く気持ちをもつ。	 クラスや学年の友達とみんなで活動する楽しさが分かり、達成感を味わう。	
生活習慣・運動		 自分の持ち物や共用の道具、用具を整理整頓する。		 時間や1日の流れに見通しをもって生活する。	 好き嫌いをせずに何でも食べようとする。	

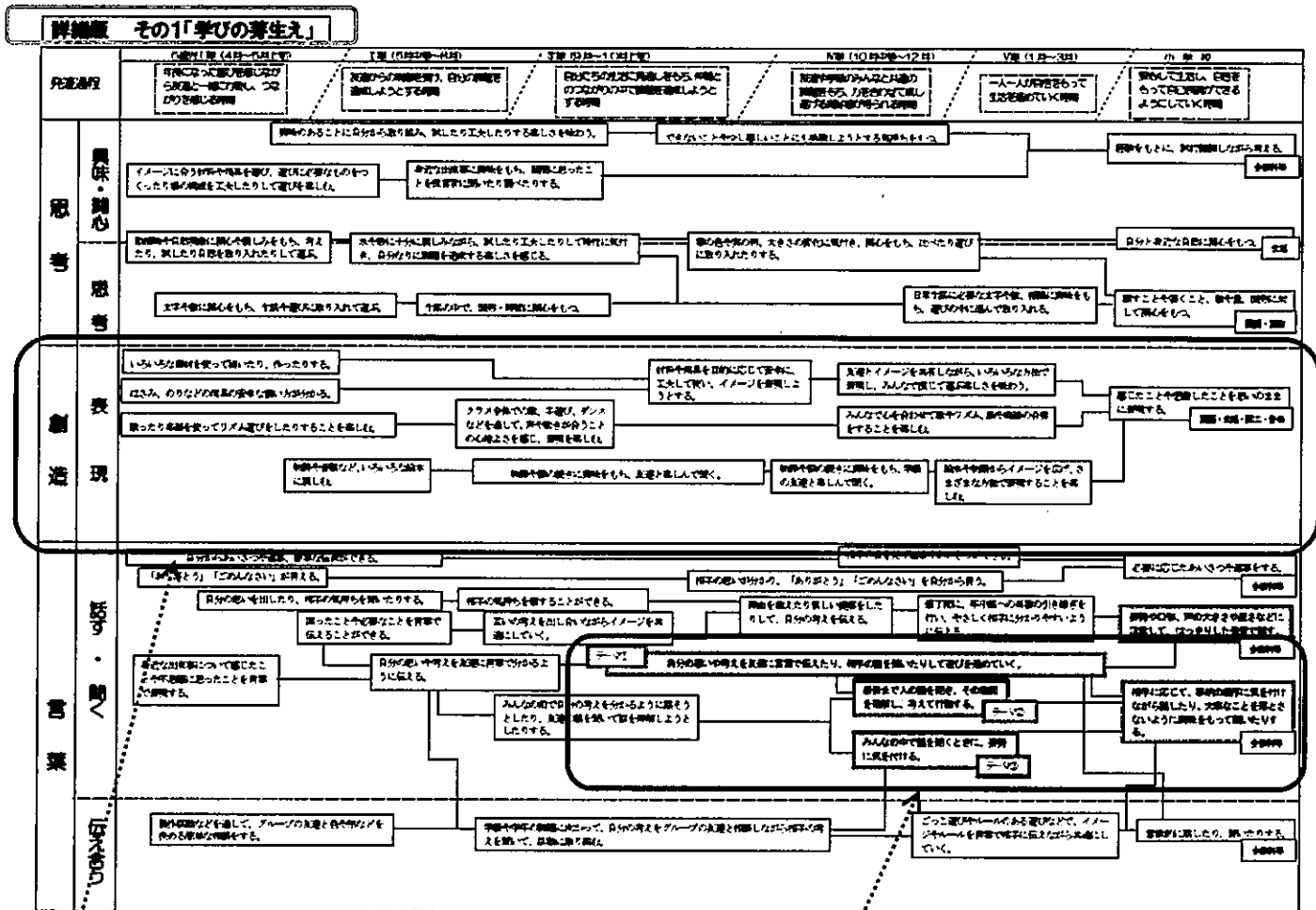
経験させたい内容（P.7参照）
「3つの力」、「8つの視点」

この表の項目は、平成28年8月 中央教育審議会教育課程部会において示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の内容を参考にした。

<Ⅲ-2 詳細版>

その時期に必要な指導、そして指導の流れやつながりを表した。

「3つの力」(P.7) ごとに
分けてある

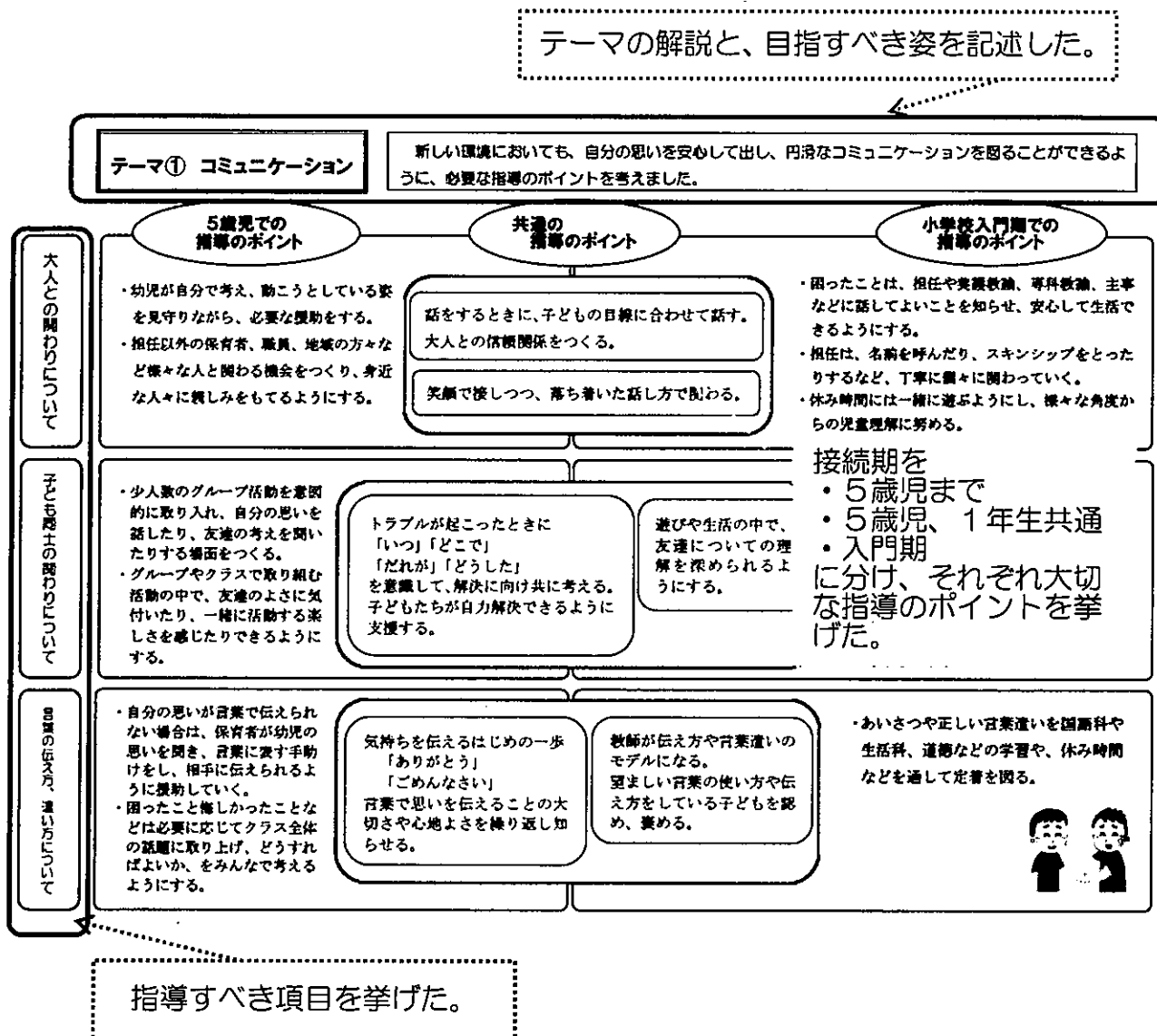


「18項目」(P.)に挙げた指導内容を、
どのように系統立てて行っていくとよいかを示した。

Ⅲ-3「日常の指導場面で」において
具体例に挙げた場面での指導のポイント
につながる内容は、二重囲みにした。
また、参照ページを記載した。

<Ⅲ-3 日常の指導場面で>

平成27年7月のアンケート結果から読み取った、主に小学校入学時に指導に苦慮する事柄について、具体的な指導のポイントを挙げた。



また、カリキュラム内の共通事項として、次のように考える。

<用語について>

使用している用語については、「就学前教育カリキュラム(平成23年3月 東京都教育委員会)」と統一し、次のようにした。

- ・接続期…年長5歳児の11月頃から小学校第1学年7月頃までと設定している。
- ・保育所や幼稚園等…保育所、幼稚園、こども園等、小学校就学前の保育・教育施設のことを指す。
- ・保育者…保育所や幼稚園等における、保育士及び幼稚園教諭のことを指す。
- ・クラス…学級、クラスのことを指す。

III 保幼小の接続期カリキュラム

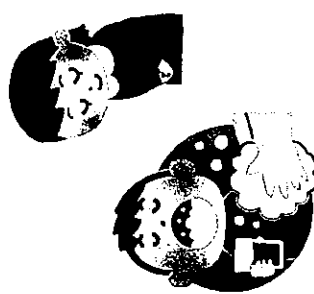
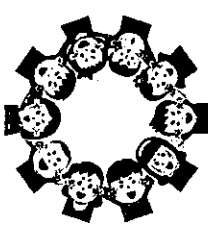
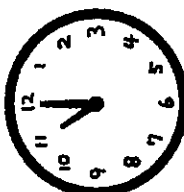
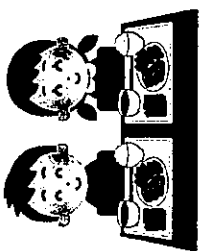
1 概要版

こんなときに活用してください

- ・発達の全体像をとらえるときに
- ・「接続期」に育てたい姿を知るときに
- ・保護者や地域に子どもの育ちを説明するときに
- ・保幼小連携の話題のひとつに
- ・各種研修会の資料に

概要版

概要版はおむねの目安です。「いつ」どのようにより経験させるか、詳細についてはP. ～P.の「詳細版」を参照してください。

発達過程		5歳児I期(4月～5月上旬)			II期(5月中旬～8月)			III期(9月～10月上旬)			IV期(10月中旬～12月)			V期(1月～3月)			小学校入門期														
発達過程		年長になった喜びを感じながら友達と一緒に行動し、つながりを感じる時期			友達とのつながりを深め、自分の課題を達成しようとする時期			友達とのつながりを深め、仲間とのつながりの中で課題を達成する時期			友達と共通の課題をもち、力を合わせ、達成し、達成感を得られる時期			友達と共通の課題をもち、力を合わせ、達成し、達成感を得られる時期			友達と共通の課題をもち、力を合わせ、達成し、達成感を得られる時期														
発達過程		思考			創造			言葉			協同			信頼			規範			基本的な生活習慣			運動・食育								
発達過程		学びの芽生え			人との関わり			生活習慣・運動																							
発達過程					・いろいろな素材を使って、描いたり作ったりする。 ・動植物や自然事象に興味関心をもち、自然を取り入れて遊ぶ。						・経験したこと、感じたこと、考えたことを友達に分かるように伝える。						・物語や話の続きに興味をもち、友達と楽しんで聞く。						・集まって話を聞くときは正しい姿勢で座る。						・日常生活に必要な文字や数字、標識に興味をもつ。		
発達過程					・自分から進んであいさつや返事をする。 ・手洗いやうがいをする習慣を身に付ける。						・相手の気持ちを考え、行動しようとする。 ・してよいこと、してはいけないことが分かるようになる。						・危険なことを自分で判断し、遊んだり生活したりする。 ・遊び方やルールを自分たちでつくり、守って遊ぶ。 ・目的に向かって自分の力を出し、友達と力を合わせる楽しさを知る。						・身近な人(高齢者、年下の乳幼児、地域の人など)との関わりを通して相手を思う気持ちをもち、通して相手を感じる気持ちをもつ。						・クラスや学年の友達とみんなで活動する楽しさが分かり、連帯感をもち、活動する。		
発達過程					・時間や1日の流れに見通しをもって生活する。						・好き嫌いをせずに何でも食べようとする。																				

2 詳細版

こんなときに活用してください

- ・指導計画を立てたり、
修正したいするときに
- ・実践の参考に
- ・指導を振り返り、評価をするときに

詳細版 その1「学びの芽生え」

発達過程	5歳児1期 (4月～5月上旬)				II期 (5月中旬～8月)				III期 (9月～10月上旬)				IV期 (10月中旬～12月)				V期 (1月～3月)				小 学 校																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	年長になった喜びを感じながら友達と一緒に行動し、つながりを感じる時期				友達からの刺激を受け、自分の課題を達成しようとする時期				自分がちの生活に早速に関わり、仲間とのつながりの中で課題を達成しようとする時期				友達や学年のみんなと共通の課題をもち、力を合わせて成し遂げる達成感を得られる時期				一人一人が自信をもって生活を建てる時期				安心して生活し、自信をもって自己表現ができるようになっている時期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
興味・関心	興味のあることに自分から取り組み、試したり工夫したりする楽しさを感じる。				身近な出来事に興味をもち、疑問に思ったことを保育者に問いかけたりする。				できないことや少し難しいことにも挑戦しようとする気持ちをもち、				経験をもとに、試行錯誤しながら考える。				全教科等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	イメージに合う材料や用具を選び、遊びに必要なものをつくったり場の構成を工夫したりして遊びを楽しむ。				水や砂に十分に親しみながら、試したり工夫したりして特性に気づき、自分なりに課題を追求する楽しさを感じる。				薬の色や形の形、大きさの変化に気づき、関心をもち、比べたり遊びに盛り入れたりする。				自分と身近な自然に関心をもつ。				生活																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
思考	動物や自然現象に関心や親しみを持ち、考えたり、試したり自然を取り入れたりして遊ぶ。				文字や絵に興味をもち、生活や遊びに取り入れて遊ぶ。				生活の中で、図形・時間に関心をもつ。				日常生活に必要な文字や絵、絵画に興味をもち、遊びの中に入れて取り入れる。				話すことや書くこと、数や量、図形に対する関心をもつ。				国語・算数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	いろいろな素材を使って描いたり、作ったりする。				はさみ、のりなどの用具の安全な使い方が分かる。				歌ったり楽器を使ってリズム遊びをしたりすることを楽しむ。				物語や昔話など、いろいろな絵本に親しむ。				絵本や物語からイメージを広げ、さまざまな方法で表現することを楽しむ。				感じたことや想像したことを思いのままに表現する。				国語・生活・図工・音楽																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
表現	いろいろな素材を使って描いたり、作ったりする。				はさみ、のりなどの用具の安全な使い方が分かる。				歌ったり楽器を使ってリズム遊びをしたりすることを楽しむ。				物語や昔話など、いろいろな絵本に親しむ。				絵本や物語からイメージを広げ、さまざまな方法で表現することを楽しむ。				感じたことや想像したことを思いのままに表現する。				国語・生活・図工・音楽																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	いろいろな素材を使って描いたり、作ったりする。				はさみ、のりなどの用具の安全な使い方が分かる。				歌ったり楽器を使ってリズム遊びをしたりすることを楽しむ。				物語や昔話など、いろいろな絵本に親しむ。				絵本や物語からイメージを広げ、さまざまな方法で表現することを楽しむ。				感じたことや想像したことを思いのままに表現する。				国語・生活・図工・音楽																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
創造	いろいろな素材を使って描いたり、作ったりする。				はさみ、のりなどの用具の安全な使い方が分かる。				歌ったり楽器を使ってリズム遊びをしたりすることを楽しむ。				物語や昔話など、いろいろな絵本に親しむ。				絵本や物語からイメージを広げ、さまざまな方法で表現することを楽しむ。				感じたことや想像したことを思いのままに表現する。				国語・生活・図工・音楽																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	いろいろな素材を使って描いたり、作ったりする。				はさみ、のりなどの用具の安全な使い方が分かる。				歌ったり楽器を使ってリズム遊びをしたりすることを楽しむ。				物語や昔話など、いろいろな絵本に親しむ。				絵本や物語からイメージを広げ、さまざまな方法で表現することを楽しむ。				感じたことや想像したことを思いのままに表現する。				国語・生活・図工・音楽																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
話し・聞く	自分からあいさつや返事、簡単な言葉ができる。				「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。				自分の思いを出したり、相手の気持ちを聞いたりする。				困ったことや必要なことを言葉で伝えることができる。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを友達に言葉で分かるように伝える。				自分の思いや考えを			

詳細版 その2「人との関わり」

発達過程				小 学 校			
5歳児1期 (4月～5月上旬)				Ⅱ期 (5月中旬～8月)			
年長になった喜びを感じながら友達と一緒に行動し、つなかりを感じ取る時期				友達のからの刺激を受け、自分の課題を達成しようとする時期			
友達と一緒に行き、つなかりを感じ取る時期				自分たちの生活に見通しをもち、仲間とのつながりの中で課題を達成しようとする時期			
友達からの刺激を受け、自分の課題を達成しようとする時期				友達や学年のみんなと共通の課題をもち、力を合わせて乗り越える喜びを感じる時期			
一人一人の自信をもって生活を始めていく時期				一人一人の自信をもって生活を始めていく時期			
安心して生活し、自信をもって自己表現ができるようにしていく時期				安心して生活し、自信をもって自己表現ができるようにしていく時期			
協 同	調 整	友達と考えるが一致して一緒に遊びを進める楽しさを感じる。		友達とのトラブルを通して友達の考えていることに気づき、その考えを受け入れる。			
		自分とは違う考えを受け入れようとします。		互いの考えを出し合い、受け入れ合いながら、一緒に遊びを進めるおもしろさを味わう。			
他 者 理 解	整	友達との関わりの中で考えが食い違い、思いどおりにいかない経験をする。		相手の立場に立って考えたり行動しようとしていたりする。			
		互いの思いを言い合える友達関係をつくるようにする。		遊びや生活を自分たちで進め、友達や自分のよさを発揮する。			
信 頼	他 者 理 解	友達の動きや言葉を感じ取りながら行動する。		チームで競い合う中で、個々の力を発揮したり、友達と知恵を出し合ったりして、チームのつながりを感じる。			
		友達の思いや言葉を聞き取りながら行動する。		クラスや学年の友達と一帯帯を感じながら自分の力を発揮する。			
異 年 齢 と の 交 流	信 頼	年下の幼児に対して親しみの気持ちをもって接する中で、年長児として自覚をもつ。		いろいろな人への感謝や思いやりの気持ちをもち、年下の幼児と関わり、年長児の役割を年下組に引き継ぐ中で、成長した喜びを感じる。自信をもつ。			
		年下の幼児に対して親しみの気持ちをもって接する中で、年長児として自覚をもつ。		いろいろな人への感謝や思いやりの気持ちをもち、年下の幼児と関わり、年長児の役割を年下組に引き継ぐ中で、成長した喜びを感じる。自信をもつ。			
規 範	き ま り	遊びの中で友達との関わり方やルールが必要を感じる。		保育者や友達からの刺激を取り入れながら遊びを進め、遊び方やルールを自分たちでつくり出し、守って遊ぶ。			
		好きな遊びや一斉の遊びの中で、ルールのある遊びを楽しむ。		みんなが心地よく遊んだり生活したりするための決まりやマナーが分かり、自分たちで必要な決まりをつくり守ったりする。			
善 悪	規 範	新しい生活の中で、きまりの必要性を感じ、保育者や友達と一緒につくる。		今は何をすべきか自分で判断し、状況に応じた行動をしようとする。			
		遊びの中で、きまりの必要性を感じ、保育者や友達と一緒につくる。		交通ルールを守り、一人で登下校できる。			
善 悪	規 範	してよいことと悪いことの基本的な区別ができる。		してはならないことはしないで、素直に伸び伸び生活する。			
		共同の物を大切に扱い、譲り合って遊ぶ。		してはならないことはしないで、素直に伸び伸び生活する。			
善 悪	規 範	自分の物と友達のを区別することが出来る。		してはならないことはしないで、素直に伸び伸び生活する。			
		自分の物と友達のを区別することが出来る。		してはならないことはしないで、素直に伸び伸び生活する。			

詳細版 その3「生活習慣・運動」

発達過程	5歳児Ⅰ期(4月～5月上旬)				5歳児Ⅱ期(5月中旬～8月)				5歳児Ⅲ期(9月～10月上旬)				5歳児Ⅳ期(10月中旬～12月)				5歳児Ⅴ期(1月～3月)				小学校			
	年長になった喜びを感じながら友達と一緒に行動し、つながりを感じて遊ぶ時期				友達からの刺激を受け、自分の課題を達成しようとする時期				自分たちの生活に見通しをもち、仲間とのつながりの中で課題を達成しようとする時期				友達や学級のみならず共通の課題をもち、力を合わせて成し遂げる達成感が得られる時期				一人一人の得意をもって生活を送っていく時期				安心して生活し、自信をもって自己表現ができるようになっていく時期			
基礎的な生活習慣	身の回りの支度																							
	衣服の着脱やたたむこと を自分で行う。				毎朝や着替えに向けて、汗の始末や衣服の洗濯を自分で考えて行う。				衣服の洗濯や身体の手入れなど、生活に必要な習慣を身に付ける。				身支度、片付けなどの手助けがなくなり、進んで行う。				身支度や片付けの習慣を身に付ける。				決められた時間や順序で身支度や衣服の手入れをする。			
自立	生活安全																							
	係や当番活動などやり方が分かり、年長としての生活の仕方を身に付ける。				遊具や遊びに必要な製作物を片付ける手がかり、整理整頓してしまおうことを身に付ける。				自分たちのできることに進んで取り組む。				いろいろな状況に応じて、自分で考えて行動する。				決められた時間や順序で、片付けやゴミの片付けをする。				安全に生活・行動しようとする。			
食育	食への関心																							
	新しい学級のみんなで食事をすることを楽しむ。				みんなで食事をするときの約束ことやマナーが分かり、守ろうとする。				自分の食への関心をもつ。				自分の食への関心をもつ。				自分の食への関心をもつ。				自分の食への関心をもつ。			
運動	集団																							
	自分の体を様々な動きに慣れ、今までの経験を取り入れて動いたりすることを楽しむ。				友達や仲間を受け入れ合ったり、自分なりの目的をもち、繰り返し挑戦する。				友達と力を合わせて動いたり、友達に対して動いたりすることを楽しむ。				自分の力を発揮しながら、仲間と協力し合って遊びを進める楽しさを感じる。				自分の力を発揮しながら、仲間と協力し合って遊びを進める楽しさを感じる。				自分の力を発揮しながら、仲間と協力し合って遊びを進める楽しさを感じる。			
発達過程	その他の過程																							

3 日常の指導場面で

こんなときに活用してください

- ・援助の具体策を知りたいときに
- ・子どもの経験の積み重ねを知りたいときに

どのような場面でも、指導のベースとなるのは、

教師・保育士と子どもとの信頼関係の構築です。

子どもたちがどのような環境下でも、のびのびと自分を

発揮するためには、教師・保育士が子どもとの信頼関係を

築くことが、まず大切です。



テーマ① コミュニケーション

新しい環境においても、自分の思いを安心して出し、円滑なコミュニケーションを図ることができるよう、必要な指導のポイントを考えました。

5歳児での指導のポイント

- ・幼児が自分で考え、動こうとしている姿を見守りながら、必要な援助をする。
- ・担任以外の保育者、職員、地域の方々など様々な人と関わる機会をつくり、身近な人々に親しみをもてるようにする。

共通の指導のポイント

話をするときに、子どもの目線に合わせて話す。
大人との信頼関係をつくる。

笑顔で接しつつ、落ち着いた話し方で関わる。

小学校入門期での指導のポイント

- ・困ったことは、担任や養護教諭、専科教諭、主事などに話してよいことを知らせ、安心して生活できるようにする。
- ・担任は、名前を呼んだり、スキンシップをとったりするなど、丁寧に関わっていく。
- ・休み時間には一緒に遊ぶようにし、様々な角度からの児童理解に努める。

大人との関わりについて

子ども同士の関わりについて

- ・少人数のグループ活動を意図的に取り入れ、自分の思いを話したり、友達の考えを聞いたりする場面をつくる。
- ・グループやクラスで取り組む活動の中で、友達のように気付けたり、一緒に活動する楽しさを感じたりできるようにする。

トラブルが起こったときに
「いつ」「どこで」
「だれが」「どうした」
を意識して、解決に向け共に考える。
子どもたちが自力解決できるように支援する。

遊びや生活の中で、
友達についての理
解を深められるよ
うにする。

- ・入学して一週間程度、隣の児童、前後の児童と簡単な自己紹介をし、名前やその児童についての理解を深める時間を設ける。
- ・生活科の「みんなとものだち」の単元を活用し、同年の児童、養護教諭、専科教諭、主事などと触れ合う活動をする。また、2年生、6年生とペアやグループをつくるなどの活動を通して児童同士が関わり方を学べるようにする。

- ・自分の思いが言葉で伝えられない場合は、保育者が幼児の思いを聞き、言葉に表す手助けをし、相手に伝えられるように援助していく。
- ・困ったこと悔しかったことなどは必要に応じてクラス全体の話題に取り上げ、どうすればよいか、をみんなで考えるようにする。

気持ちを伝えるはじめての一步
「ありがとう」
「ごめんなさい」
言葉で思いを伝えることの大切さや心地よさを繰り返し知らせる。

教師が伝え方や言葉遣いのモデルになる。
望ましい言葉の使い方や伝え方をしている子どもを認め、褒める。

- ・あいさつや正しい言葉遣いを国語科や生活科、道徳などの学習や、休み時間などを通して定着を図る。



言葉の伝え方、遣い方について

テーマ② 話を聞く態度

幼児・児童が話を聞けるようにするために、教師は話に集中させる工夫の必要があります。しっかりと話を聞くことのできる幼児・児童を育てるための指導のポイントを考えました。

5歳児での指導のポイント

- ・絵や写真など視覚的な教材を使って話す。
- ・幼児が話の内容を理解しやすい話し方、言葉遣いを心掛ける。



共通の指導のポイント

話す時間は短く、
短い文章で話す。

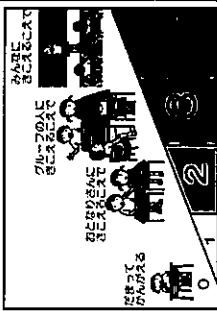
見通しがもてるように、
何点話すかを、話す前に伝える。

言葉だけでなく、
絵・実物・板書等を利用する。

一つの活動の時間は、
15分程度で計画する。

小学校入門期での指導のポイント

- ・言葉だけでも児童が注目する話し方を
する（抑揚・声の大きさ等）。
- ・児童が発言できる場面をつくる。
- ・45分1教科とせず、複数の教科を組
み合わせるなどして、話を聞く時間を
少しずつ長く
していく。



注目をさせるための工夫

☆授業時間の例と目安は、テーマ③参照

- ・話をしている人を見ながら話を
聞くように促し、できている姿
を認め、意識を高める。
- ・みんなで一緒に話を聞くときに
椅子に座る機会を徐々に増や
していく。

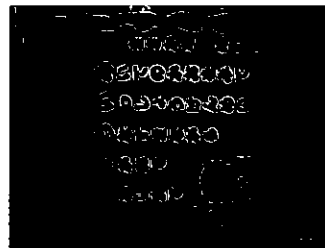
聞き方がよい幼児・
児童を褒める。



話を聞くときは・・・
静かに聞く・最後まで聞く
ことを繰り返し伝える。

この内容を、
少しずつ伝えていくと
いいですね。

- ・話を聞くときの合言葉を決め、実践
する。
(例)



☆話を聞く姿勢については、テーマ③参照

相手を意識して聞くための工夫

テーマ③ 座り方

正しい姿勢を保ち、活動や学習に集中できるようにするための、指導のポイントを考えました。

5歳児での指導のポイント

- ・幼児がイメージしやすい言葉で正しい姿勢を促す。
「お山座り」
「おにぎり座り」
「背中をピン」 など。

共通の指導のポイント

「合言葉」で、正しい姿勢を促す。
例) 「あしはぺったん、せなかはピン
おなかとせなかはグーひとつ」
(書写教科書より)
「グー、ペタ、ピン」
「おへそと机は仲良し」
「脚を抱えて膝ピタッコン」

地域の保・幼・小で使っている言葉を情報交換できるといいですね！
子どもたちと合言葉を考えてみるのもいいかもしれません！

言葉から、小学校への期待をもつ。

例) お山座り→体育座り

よい姿勢の幼児・児童を褒める。

小学校入門期での指導のポイント

- ・引き続き、場面に応じて、座り方を確認する。



保育所・幼稚園

小学校

正しい姿勢の合言葉

着席時間の目安

姿勢保持のために

- ・年齢や実態に合わせて、話を集中して聞く場面を意図的に設定する。

例) 絵本や童話の読み聞かせや一斉活動等
10～15分程度

(5歳児後半から小学校入学後約2週間頃)

一単位を15分程度とした活動を積み重ねる。

興味がもてる活動の精選、理解しやすい言葉や手順を配慮する。

生活科を中心に、他教科等と関連させながら、学習活動を実施する。

- ・授業の時間や活動内容を柔軟に組み合わせる。

例) 活動時間の組み合わせと時期の目安
入学後3週間からGW明け頃

30分+15分、20分+25分など

6月以降

一単位 45分間での授業の実施

- ・イメージやなりきって動く楽しさを基盤とした様々な遊びを経験する。(体幹の強化・背筋力の向上につなげる)
・個々に合った椅子を使用する。

様々な遊びや動きを経験し、全身の発達を促す。

- ・四肢をコントロールする遊び・・・ボール遊び 巧技台・跳び箱遊び 大型積木遊び スクーター など
- ・バランスをとる遊び・・・鉄棒遊び マットを使った運動遊び など
- ・静と動を調整する遊び・・・かけっこ 鬼ごっこ 登り棒 など

園や学校での取組を保護者に伝え、家庭と連携を図っていくことが大切です！



- ・体育の授業を通して、体幹の強化・背筋力の向上を目指す。(幼児期の運動遊びの流れを汲み、“～遊び、～ごっこ”の要素を取り入れる)
- ・外遊びを推奨し、体を動かす機会をたくさんつくる。(休み時間に教師も一緒に遊ぶ)

テーマ④ 時間に関すること

小学校に入ると、時間を意識して動く機会が多くなります。活動に見通しをもち、時間を意識して生活をさせるための指導のポイントを考えました。

5歳児での指導のポイント

- ・ 1日の流れや活動の流れを絵や写真など視覚的な教材を示して伝える。
- ・ 「時計」が身近な道具となるよう、生活の場面で意識して取り入れる。

保育所・幼稚園では、子どもの様子や活動の内容によって流動的に時間を変えています。

共通の指導のポイント

自分で気付いたり確認したりできるように、1日の流れや活動の流れを時計や絵表示・板書を用いて知らせる。

時間を意識して行動できたことを褒める。

小学校入門期での指導のポイント

- ・ 自分で見て確認できるよう、1日の流れはいつでも見られるような場に掲示・板書しておく。(時間割表など)

生活の見通しがもてる工夫

- ・ 自分のやりたいことを十分にできる時間を保障する。

- ・ 活動の始まりや終わりの時間を伝え、時計を見て行動する経験を積み重ねる。

例) 「時計の長い針が“○(数字)”になったら片付けはじめましょう。」

「時計の長い針が“○(数字)”までに片付けを終わらせましょう。」

- ・ 活動と活動の間にどんなことをしたらよいか、どんなことが必要かわらせる(トイレ・水分補給等)。

活動と活動の間(保育所・幼稚園)や、休み時間(小学校)に、何をすればよいか、板書などを利用して分かりやすく伝えていく。

活動の始まりや終わりの時間を示して、見通しをもたせ、その時間までに必要なことができるようにしていく。

例) 「手洗い、うがい、トイレを済ませて時計の長い針が“○(数字)”に集まりましょう」

- ・ 決まった時刻で活動が始まったり終わったりすることに慣れるように、繰り返し指導する。
- ・ 時間割表を見て活動できるように声掛けしていく。

- ・ 休み時間に何をすればよいか、自分で行動できるように声掛けをする(トイレ・水分補給・次の時間の準備等)。

保育所・幼稚園には、休み時間はなく、小学校で初めて経験します。

時間の使い方の工夫

テーマ⑤ 食

給食＝食べることに關しては個人差が大きく、全体への指導と共に個別指導も必要となります。
また、小学校では時間を意識して食べることも必要です。必要な指導のポイントを考えました。

5歳児での指導のポイント

- ・栽培、収穫、調理、食事を通して、様々な食材への興味・関心、食べ物を大切にすることが育てる。
- ・児童との交流給食を計画し、小学校の給食への不安を取り除き、期待をもてるようにする。

共通の指導のポイント

食材への興味をもてるように、視聴覚教材（栄養素の表など）を活用する。

栄養士や調理師などと連携し、給食指導（食育）を行う。

保育所や小学校の給食のレシピを活用し、保護者に発信する。
中央区HP→子育て・教育→保育園・子ども園（学校教育）
→給食人気メニューレシピ集（学校給食献立）

小学校入門期での指導のポイント

- ・校内探検を活用しながら実際につくる場面を見せたり、栄養士が献立を立てていることを知らせたりする。
- ・献立に使われている食材について、食事をしながら分かりやすく説明する。

食に興味をもつように

- ・幼児の実態に応じて、食べきれぬ量を調節して、完食を目指す。

量を調整して完食する嬉しさを感ぜられるようにする。

完食する経験を積み重ね、自分の食べられる量が分かるようにする。

幼稚園の弁当は、給食を見越して白飯をつめてもらったり、箸を使って食べるおかずを入れてもらったりするなど保護者へ協力を求めていることも大切です。
その中で、「自分の力で食べる経験」を積み重ねていきましょう。

食べる楽しさを味わえるように

- ・4月当初は少なく配膳し完食ができたら褒める。
- ・完食できなくても、頑張ったことを認め、次に繋げる。



- ・時計の数字を使って目安の時間を伝え、食事や片付けの時間を意識して生活できるようにする。
- ・遊びを通して、箸の使い方を学ぶ。

食事をしながら、箸の使い方やテーブルマナーをその都度指導する。

食べ終わった幼児・児童は、静かに待つようにする。

食事時間の目安を20～25分間とし、食べ始める前に時間を知らせておく。



- ・4月中旬くらいまで、10分間程度を「もぐもぐタイム」として、話さずに食事に集中する時間を設ける。
- ・食事の終わりの時間を意識しながら、食事ができるように促す。
- ・事前に給食のオリエンテーションを行い、配膳の仕方や給食のマナーを学ぶ。

食事の準備から片付けを意識できるように

IV 巻末資料

アンケート、参考文献

今年度、中央区教育委員会及び中央区福祉保健部は、保幼小接続期カリキュラム検討委員会を設置し、幼児教育全体の充実と学びや活動の連続性を活かした小学校教育への円滑な接続に向けてのカリキュラムの作成に取り組みます。

つきましてはご多用中のところ恐縮ですが、今年度1年生をご担当している先生方下記(裏面も含む)のアンケートに回答をいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

学校名

小学校 1年()組

記入者

・現状についてお尋ねします。

・*新1年生が入学したとき〜7月ごろまでの「子どもの姿で困ったこと」について記入してください。

困ったこと	それについてどのような対応をされましたか？(いつ頃、どのよう？)	対応した後、どうでしたか？
(例:時間の概念がない)	(例:入学当初から、「時間」を知らせるのではなく、長い針の位置「数」を意識させた。)	(例:針が示す数字を意識するようになった。)

小学校入学前に「ある程度」はできていてほしい」ことについて、以下の項目から特に重要と思われる項目をカテゴリーA・Bから各10個程度ずつ選んで○をしてください。

*カテゴリーA

- ☐・「おはよう」「さようなら」のあいさつをする。
- ☐・名前を呼ばれたら元氣よく返事をする。
- ☐・戸外活動の前後や食事の前には、トイレ、水飲み、手洗い、うがいなどが済ませられる。
- ☐・ひとりでのトイレが済ませられる。
- ☐・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする。
- ☐・箸の持ち方や食器に手を添えるなどの食事のマナーが身に付いている。
- ☐・「配膳」の経験をしている。
- ☐・好き嫌いをなく、何でも食べる。
- ☐・時間内に食べ終えるよう、集中して食べる。
- ☐・「ありがとう」や「ごめんなさい」が言える。
- ☐・衣服を脱ぎ着し、脱いだ服をたたむ。
- ☐・ハンカチやティッシュを常にポケットに入れ、汗を拭く・鼻をかむなど自らの判断で行う。
- ☐・困ったことや分からないことがあるときには自ら伝えたり、尋ねたりする。
- ☐・自分の気持ちを言葉で伝える。
- ☐・自分のものと友達のものゝを区別できる。
- ☐・交通安全や公共の場でのルールを理解し、守る。
- ☐・集団で活動するときのルールを理解し、守る。

*カテゴリーB

- ☐・声の大きさの調節ができる。
- ☐・小学校との交流活動を通して、実際に小学校の様子にある程度慣れる。
- ☐・椅子に姿勢よく座る。
- ☐・話をしている人の方を向いて聞く。
- ☐・黙って話を聞く。
- ☐・ものの数量や形状、ものがある場所など、具体的に相手に伝える。
- ☐・数字に関心をもつ。
- ☐・自分の名前をひらがなで読むことができる。
- ☐・自分の名前をひらがなで書くことができる。
- ☐・身近な動植物の世話をする。
- ☐・生き物や自然物に触れる。
- ☐・伝承遊びに興味をもつ。
- ☐・ボールや縄跳び、鬼ごっこなど多様な運動遊びに進んで取り組む。
- ☐・物作りなどで様々な素材や材料に触れる。
- ☐・ハサミの扱い方を知り、安全な扱い方が分かる。
- ☐・使ったものを片付ける。
- ☐・ゴミをゴミ箱に捨てる。
- ☐・歌を歌ったり、表現遊びをして楽しく活動する。

・他に「ある程度」できておくといふことがありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

平成28年7月8日

保幼小接続期カリキュラム(中間報告) アンケート

中央区教育委員会及び中央区福祉保健部では保幼小の円滑な接続のために、「保幼小の接続期カリキュラム(中間報告)」を作成しました。本カリキュラムをより活用しやすいものとするためにアンケートを実施し、1年生担任の皆さんより、広くご意見を伺いたいと思います。ご協力をお願い致します。

なお、記述欄については、可能な範囲でご記入ください。

校 園 名		氏 名	
「はい」「いいえ」に○をしてください。			
内 容	はい	いいえ	
① 「接続期カリキュラム概要」(絵入り)は解りやすかったですか。			
・ ①の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			
② 「接続期カリキュラム詳細版」は解りやすかったですか。			
・ ②の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			
③ 「テーマ①コミュニケーション」は解りやすかったですか。			
・ ③の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			
④ 「テーマ②話を聞く態度」は解りやすかったですか。			
・ ④の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			
⑤ 「テーマ③座り方」は解りやすかったですか。			
・ ⑤の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			

→裏面にもご回答ください。

⑥ 「テーマ④時間に関すること」は解りやすかったですか。			
・ ⑥の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			
⑦ 「テーマ⑤食べること」は解りやすかったですか。			
・ ⑦の回答についてその理由を具体的に記入してください。(可能な範囲でご記入ください)			
☆学級経営や入学後の指導で今後活用できそうなページはどれですか？ 該当する項目に○をしてください。(複数回答可)			
・カリキュラム概要	・カリキュラム詳細版		
・テーマ①コミュニケーション	・テーマ②話を聞く態度		・テーマ③座り方
・テーマ④時間に関すること	・テーマ⑤食べること		
☆幼稚園、保育園の子どもの姿で知りたいことはどのようなことでしょうか？			
例)・トイレ、手洗い指導について	・声の大きさについて	・音楽表現について	
・着替えについて	・文字について	・絵画表現について	
・片付けについて	・返事について		

ご協力、ありがとうございました。



参考文献

- 幼稚園教育要領（平成20年告示 文部科学省）
- 小学校学習指導要領（平成20年告示 文部科学省）
- 保育所保育指針（平成20年告示 厚生労働省）
- 改訂中央区教育振興基本計画（平成27年 中央区教育委員会）
- 中央区こどもすくすくえがおプラン 中央区子ども・子育て支援事業計画
（平成27年 中央区）
- 小1問題の予防・解決のために（平成24年 東京都教育委員会）
- 就学前教育カリキュラム（平成25年 東京都教育委員会）
- 幼児のよりよい育ちをめざして（平成21年 中央区教育委員会）
- 成長や学びのつながりを大切にー就学前教育と小学校教育との円滑な接続をめざしてー
（平成24年3月 中央区教育委員会）
- 幼児よりよい育ちをめざして 中央区幼稚園アプローチカリキュラム
（平成24年3月 中央区教育委員会）
- 初等教育資料10月号（平成27年10月 文部科学省）
- 他区、他市の接続期カリキュラム



保幼小の接続期カリキュラム検討委員会

【平成28年度】

委員長	京橋朝海幼稚園	園長	箕輪 恵美
副委員長	久松小学校	校長	酒井 寛昭
副委員長	かちどき西保育園	園長	弘瀬 理恵
委員	明石町保育園	副園長	中川原 紀代子
	人形町保育園	主査	首藤 裕子
	日本橋保育園	主査	瀬田 優子
	つくだ保育園	主任主事	中塚 淳子
	月島第一幼稚園	主任教諭	田原 雅代
	豊海幼稚園	主任教諭	中島 由美子
	泰明幼稚園	教諭	丸山 恵梨子
	豊海幼稚園	教諭	渡辺 美由樹
	月島第三小学校	主幹教諭	古澤 敬子
	明石小学校	主任教諭	吉田 裕子
	久松小学校	主任教諭	南村 章子
	有馬小学校	主任教諭	奥谷 早苗

【平成27年度】

委員	日本橋小学校	主幹教諭	中里 恵美子
	泰明小学校	教諭	中村 香織

【平成28年度】事務局

福祉保健部	子育て支援課	課長	山崎 健順
	子育て支援課保育計画指導係	主査	三浦 理恵子
教育委員会事務局指導室		室長	吉野 達雄
		副参事	猪瀬 賢一
		統括指導主事	柄澤 武志
		統括指導主事	尾上 佐智子
		指導主事	清水 浩和
		指導主事	平野 収
		幼児教育担当専門幹	川越 裕子

【平成27年度】

教育委員会事務局指導室	室長	佐藤 太
	統括指導主事	丸山 順子
	指導主事	大屋 博文